

これから、成績が伸びていくには

中学3年生は今、入試に向けて受験モードに入っています。中学2年生も1年後には、受験勉強に毎日追われるようになります。

では、本題に。中学3年になって伸びていく生徒の傾向をお知らせします。

下記の成績は、ある生徒の茨統テスト（5教科）の推移です。

時期	中2・1	中2・2	中2・3	中3・1	中3・2	中3・3	中3・4
偏差値	49	47	51	54	54	57	61

偏差値は平均点が50。だいたい偏差値50で水戸工業（電気）の合格ラインです。

59で水戸桜ノ牧高校の合格ラインです。中2・2というのは夏期講習の後の茨統テスト、中3・3が夏期講習後のテストです。1年で偏差値が10上がっている計算です。点数で言えば5教科で約80点～90点。茨統テストは実力テストよりも平均点が低いので、290点前後の生徒が370点近く得点したことになります。これだけ上げるのは大変なことです。

この生徒を含めて、成績が伸びていく生徒に共通する特徴があります。

1. 素直な性格であること。

塾や学校でいろいろ教わったことを素直に受け入れ学習していく。効果的と思われる勉強方法を桜ゼミでは伝えていきます。素直に聞いて、実行してください。

2. 負けん気があること。

テスト結果は、良くも悪くも競争です。順位がつかます。誰かに負けたくないという意識は、成績を上げるために効果的です。誰かライバルを見つけて競争してみましょう。

3. 苦手な教科の勉強時間を増やすこと

苦手な教科ほど後回しになりがちですが、点数がとりやすいのは苦手な教科です。上記の生徒は苦手な教科を徹底的に学習していました。ノートを作って書いて、書いて、書いて覚えていました。

4. 人の話を集中して聞くこと

学校でも塾でも、学習は授業を聞いて理解することが中心です。コミュニケーションをはかる上でも話を聞く力は大切な能力です。聞いていなければ、「何が分からないかも分からない」という変なことになってしまいます。聞く姿勢をつくって、ちゃんと話を聞きましょう。

5. あきらめずに続けること

どの高校で学ぶのかは、非常に大切なことです。人生の半分が決まるといっても過言ではありません。後悔しないように、あきらめずに学習を続けることが重要です。

以上5つです。あてはまらなければ、あてはまるよう変えていけばよいのです。ぜひ、今日から見習ってください。

桜ゼミナール 代表 関